

# 初公開資料展

本展は、これまであまり知られていない人物や出来事に光を当て、また、すでによく知られている人物・出来事についても、これまでと異なる角度から光を当てようとするものです。黎明館の収蔵庫の底力をお見せいたします。



山田壮右衛門書状案

江戸城大奥の局（幾島）宛。万延元（1860）年の桜田門外の変後、藩主島津茂久の参勤をめぐる一件を説明したもの。忠義心が強すぎて、命じられてもいない者が勝手に藩を飛び出し、彦根藩士との間にトラブルを起こすかもしれない等、薩摩人気質の分析が面白い資料です。



薬丸長左衛門の遺言（個人蔵・黎明館保管）

天保6（1835）年に亡くなった薬丸自顕流当主の遺言。弟子の技術的な問題点とその対策を個別に伝えたり、打廻りの際の立木の高さに言及したりと、細やかに指示しています。



小松帯刀写真 部分

## 実兄に見せる 小松帯刀の本音

小松帯刀書状（肝付家所蔵・黎明館保管）

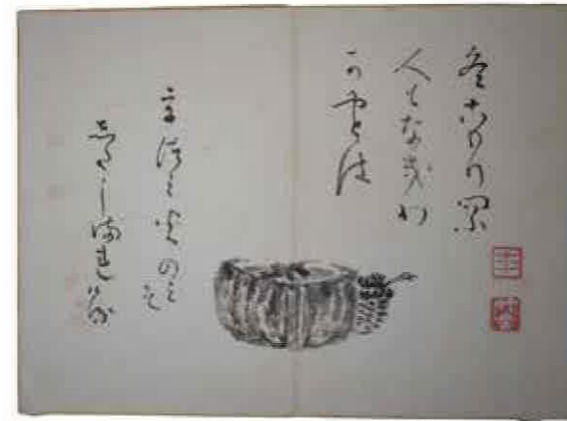
大坂の小松から鹿児島の実兄肝付丹波に宛てた手紙。慶応4（1868）年3月27日付。幕府の恭順と歎願により江戸での戦争が避けられたことを喜んでおり、小松の政治姿勢を理解する上で貴重な資料です。



- 島津斉興の祈りの世界
- 調所広郷の味のある手紙
- 薬丸長左衛門の遺言
- 桜田門外の変と薩摩人気質
- 戦闘に使用された由緒書のある刀
- 火災を潜り抜けた手紙
- 江戸の庶民は天璋院をどう見ていたか



上野良太郎（町田久成）書状 部分



岩下方平自画賛帖

岩下は、幕末の薩摩藩家老で、パリ万博では薩摩藩の使節団長を務めました。「冬ごもり 問ふ人もなき わがやどは うづみ火のみぞしたしまれける」とあり、何があったの？と思うほど静かな情景が目につかびます。

- 蝦夷地で消息を絶った井上石見
- 西郷隆盛の心情を伝える漢詩
- 家老岩下方平の絵と和歌
- 詩画に通じた見玉天雨



見玉天雨写真

ユーフォニアム奏者  
**尾崎平次郎の**

# 数奇な運命

- スイスにて 平次郎の兄を襲う悲劇
- 西郷軍を圧倒する物資と情報
- 日記に見る陥落前後の城山
- 西郷隆盛、人気がありすぎて…
- 若松城（会津）秘話



海軍省辞令

尾崎平次郎は、日本吹奏楽の嚆矢、薩摩藩洋楽伝習生の1人で、日本初のユーフォニアム奏者です。しかし、激動の時代に翻弄され、数奇な運命をたどります。スイスで客死した兄（平八郎）と併せて紹介します。

### 関連イベント

▶ 学芸講座（展示解説講座）

「幕末・明治 初公開資料展」

日時：7月2日（日）13：30～15：00

講師：黎明館学芸専門員 崎山健文

会場：黎明館3階 講座室

※事前申込制。詳細はホームページまたはチラシをご覧ください。

▶ 講演会

「薩摩藩と吹奏楽」

日時：7月9日（日）13：30～15：00

講師：公益社団法人日本吹奏楽指導者協会  
関東甲信越支部常任理事・事務局長  
篠田雄一氏

会場：黎明館2階 講堂

※事前申込制。詳細はホームページまたはチラシをご覧ください。

▶ 展示解説

日時：6月18日（日）

日時：7月22日（土）

日時：8月6日（日）

いずれも13：30～14：10

会場：黎明館3階 企画展示室

※事前申込不要、要入館料